

# 令和4年度大学教員業績評価実施結果報告

令和5年2月9日  
筑波大学

## I 大学教員業績評価の概要

大学教員業績評価については、平成19年度に試行実施し、試行結果の検証と課題に関する議論を重ね、検討した「大学教員業績評価指針」が平成21年5月21日の教育研究評議会において決定され、平成21年度より実施した。その後、令和2年6月18日の役員会において制定された「国立大学法人筑波大学大学教員業績評価規程」に基づき、令和2年度より実施することとなった。本評価は、今年度で14度目の実施となり、教員の業績評価に係る作業をウェブ上で行う「大学教員業績評価支援システム（Tsukuba Evaluation Support System for Professors' Achievement (TESSA)）」を用いて実施した。

### 1. 目的

- (1) 教員自らが自身の活動を客観的に分析し、活動の改善・質の向上を図る
- (2) 教員の活動に対する正当かつ積極的な評価による処遇への反映やインセンティブの付与
- (3) 評価結果の分析を通じた大学や各組織における施策への反映
- (4) 国立大学法人としての社会への説明責任

### 2. 実施体制

系等を経験の実施組織とし、それぞれ、教員の業績評価の実施及びSS（極めて優れた活動内容）評価候補教員の選定等を行うため、部局評価委員会を設置した。

なお、大学本部等において勤務する教員にあっては、評価を担当する副学長が評価を実施した。

また、SS評価教員の認定等に係る検討・審議を行うため、教育研究評議会の下に、評価を担当する副学長、系長、計算科学研究センター長及び生存ダイナミクス研究センター長により構成される大学教員業績評価全学評価委員会（以下、「全学評価委員会」）を設置した。

※評価の実施組織等

（人文社会系、ビジネスサイエンス系、数理物質系、システム情報系、生命環境系、人間系、体育系、芸術系、医学医療系、図書館情報メディア系、計算科学研究センター、生存ダイナミクス研究センター、大学本部等教員）

### 3. 評価の方法等

評価の方法等の概要は以下のとおりである。

#### (1) 教員による自己点検・評価

教員は、自身の前年度の活動実績について領域ごとに点検・評価を行い、系長等へ「大学教員業績自己点検・評価票」を提出した。

※評価領域

（・「研究」、「教育」、「社会貢献・学内運営」（活動に応じて「診療、センター、附属学校」を追加。）  
・大学本部等教員：任務とする「本部業務」）

※評価の段階

（S（平均水準を大きく上回っている）、A（平均水準を上回っている）、  
B（ほぼ平均的な活動内容である）、C（Bを下回る活動内容である））

(2) 部局評価委員会による評価

教員による自己評価の妥当性については、系長等の責任の下、部局評価委員会における評価において確認するとともに必要なコメントを付し、系長等を通じて教員へ通知した。

(3) 全学評価委員会による SS 評価教員の認定

部局評価委員会の選考を通じて、系長等より推薦される SS 評価候補教員の中から、領域ごとに SS 評価教員を認定した。

4. 大学教員業績評価支援システム (TESSA) の運用状況

業績評価作業の効率化、データの一元化等を目的とし、平成 25 年度から全学で運用を開始した TESSA は、データ票に関する改修等を行い、不具合等を解消した。

5. スケジュール

令和 4 年 5 月 系長等へ評価の実施について通知  
7 月～ 教員による自己点検・評価の実施  
部局評価委員会による評価の実施、SS 評価候補教員の選定  
11 月 系長等より SS 評価候補教員の推薦  
全学評価委員会による SS 評価教員の認定  
SS 評価教員の認定について BEST FACULTY MEMBER 選考委員会へ報告  
令和 5 年 2 月 令和 4 年度大学教員業績評価結果について教育研究評議会等へ報告

II 大学教員業績評価の実施結果の概要

1. 評価実施者

評価対象者 1510 人 (令和 4 年 5 月 1 日) のうち、評価実施者は 1505 人であり、評価実施率は 99.7% と昨年度と同様であった。

領域別実施者数

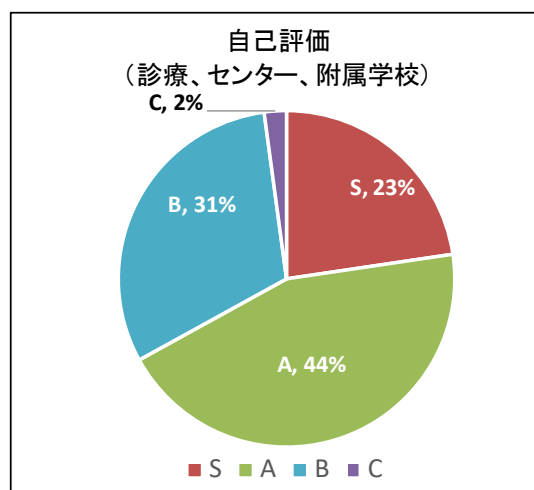
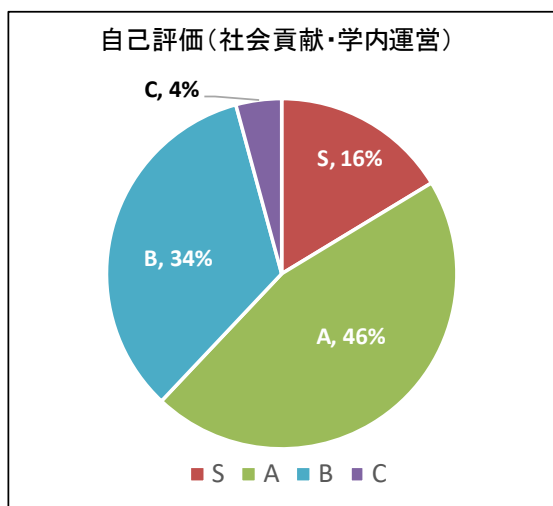
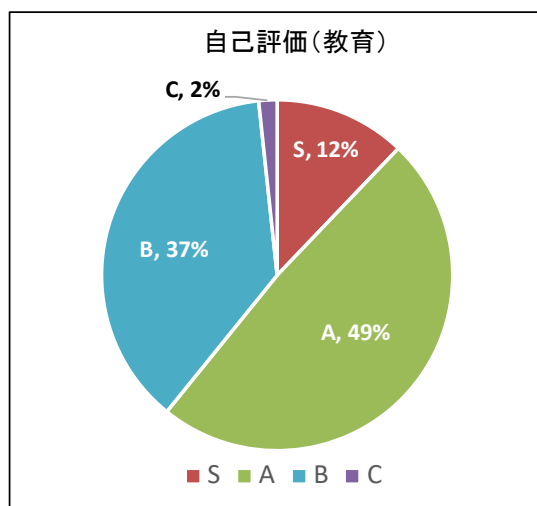
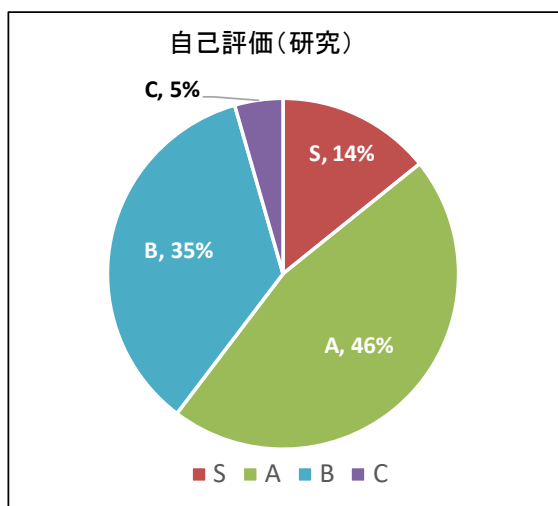
3 領域で評価を実施した者	872 人
4 領域で評価を実施した者	613 人

(注 1) 大学本部等において勤務する教員 (20 人) を除く。

(注 2) 3 領域実施者は、「研究」、「教育」及び「社会貢献・学内運営」の領域で評価を実施した者。

(注 3) 4 領域実施者は「研究」、「教育」及び「社会貢献・学内運営」の領域のほか、活動に応じて「診療」、「センター」又は「附属学校」の領域で評価を実施した者。

## 2. 自己評価の分布状況（領域別）



(注1) 大学本部等において勤務する教員(20人)を除く。

(注2) 「診療、センター、附属学校」は4領域実施者のみ。

## 3. SS 評価教員認定結果

全学評価委員会において、評価の実施組織ごとに推薦のあった候補者の中から、22人をSS評価教員として認定した。

### 【職位別】

職位	人数
教授	11人
准教授	9人
講師	0人
助教	2人
合計	22人

### 【領域別】

領域	人数
研究	11人
教育	1人
社会貢献・学内運営	1人
診療	2人
教育／研究	1人
研究／社会貢献・学内運営	3人
教育／研究／社会貢献・学内運営	3人
合計	22人